

2019年2月8日

各位

2019年『カーボンブラック』需要見通し

カーボンブラック協会

平成31年1月の内閣府基調判断によれば、国内の景気は、雇用・所得環境の改善による個人消費の持ち直しや企業による堅調な設備投資に支えられ、全般的には緩やかな回復基調をたどっている。

また、海外経済の先行きについても、全体としては、米国経済のけん引により概ね緩やかに拡大していく傾向にあるとみられているものの、米国のマクロの政策運営、米中貿易摩擦、英国のEU離脱交渉の行方など多くの問題を抱えており、これらの展開次第では、今後の世界経済の下押しリスクとなるため、予断を許さない状況となっている。

こうした経済展望の中で、カーボンブラック需要の主力製品である自動車タイヤの需要については、(一社)日本自動車タイヤ協会が、又ゴム産業全体の新ゴム消費量は(一社)日本ゴム工業会が各々2019年の見通しを公表した。

これによると、新ゴム消費予想量では自動車タイヤ・チューブで昨年比0.6%の減、タイヤ以外の一般ゴムで1.4%の増となり、ゴム産業全体では0.2%のマイナスと予想している。

弊協会では、これら(一社)日本自動車タイヤ協会と(一社)日本ゴム工業会の見通しをベースに、輸出入の状況等も織り込んで、2019年のカーボンブラック需要の見通しを行った。その結果、カーボンブラック総需要(輸出入込み)は、前年とほぼ同値となった。

なお、「需要見通しの指標」については、添付別紙【表1】を、「カーボンブラック需要見通し」については【表2】を、「輸入見通し」については【表3】を参照願いたい。

以上

【表1】 2019年需要見通しの指標

『新年見通し』の前年比は前年見込み比%

	2017年実績		2018年実績見込み		2019年見通し	
	数量	前年比 (%)	数量	前年比 (%)	数量	前年比 (%)
自動車生産 (千台)	9,691	105	9,673	100	9,689	100
タイヤ生産 (トン)	1,026,450	101	1,061,360	103	1,054,990	99
一般ゴム生産 (トン)	266,950	104	271,840	102	275,610	101
新ゴム消費量計(トン)	1,293,400	101	1,333,200	103	1,330,600	100

【表2】 2019年カーボンブラック需要見通し

数量単位;トン、『新年見通し』の前年比は前年見込み比%

	2017年実績		2018年実績見込み		2019年見通し	
	数量	前年比 (%)	数量	前年比 (%)	数量	前年比 (%)
タイヤ	515,278	100.7	532,803	103.4	529,605	99.4
一般ゴム	152,162	103.5	154,949	101.8	157,098	101.4
ゴム用計	667,440	101.3	687,752	103.0	686,703	99.8
非ゴム	38,365	100.6	36,969	96.4	37,000	100.1
内需計	705,805	101.3	724,721	102.7	723,703	99.9
輸出	55,336	111.0	57,800	104.5	58,000	100.3
[内ゴム用計]	17,227	97.6	19,022	110.4	19,000	99.9
総需要	761,140	101.9	782,521	102.8	781,703	99.9
[内ゴム用計]	684,666	101.2	706,774	103.2	705,703	99.8

【表3】 2019年カーボンブラック輸入動向

数量単位;トン、『新年見通し』の前年比は前年見込み比%

	2017年実績		2018年実績見込み		2019年見通し	
	数量	前年比 (%)	数量	前年比 (%)	数量	前年比 (%)
ゴム用	147,710	96.5	148,100	100.3	147,000	99.3
非ゴム用	14,600	109.8	12,900	88.4	13,000	100.8
合計	162,310	97.5	161,000	99.2	160,000	99.4

以上